

SDG s 達成に向けた宣言書

令和4年1月6日


















申請者 所在地 松戸市根本387-5

名称 松戸市

代表者 松戸市長 本郷谷 健次

本市は、SDG s の内容を理解し、SDG s 達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDG s 目標（ゴール）（※該当するゴールに○を入れてください）

①貧困 	○	②飢餓 	○	③保健 	○	④教育 	○
⑤ジェンダー 	○	⑥水・衛生 	○	⑦エネルギー 	○	⑧成長・雇用 	○
⑨イノベーション 	○	⑩不平等 	○	⑪都市 	○	⑫消費・生産 	○
⑬気候変動 	○	⑭海洋資源 	○	⑮陸上資源 	○	⑯平和 	○
⑰実施手段 	○						

2 SDG s 達成に向けた経営方針等

<p>▶ 市民、企業、各種団体などのステークホルダーとのパートナーシップを推進し、「経済・社会・環境」の三側面の調和を保ち、現世代と将来世代がともに安全・安心に暮らせる持続可能な優しいまちを実現させる取組を進めることにより、我が国や世界のSDGs 達成に貢献する。</p> <p>※ 市公式ホームページにて市長（松戸市地方創生SDGs 推進本部長）が宣言 https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/sdgs/matsudo_SDGs_honbu.html</p> <p>▶ 三側面が相互に関連するSDGsの達成に向けた取り組みの多くは、本市が既に取り組んでいる施策と親和性が高く、少子高齢化に歯止めをかけ将来にわたる成長力の確保を目指す地方創生とSDGsの方向性は同じであり、SDGsの達成は地方創生に資すると考えている。</p> <p>▶ SDGsの理念は、コロナ後を見据えたまちづくりの指針ともなり、その理念に沿った施策の展開が、持続可能なまちづくりを目指すうえで重要であると認識している。</p> <p>▶ SDGsへの取り組みと親和性のある総合計画・総合戦略を軸に、他の計画でも配慮・対応している。</p> <p>▶ 次期総合計画では、SDGsの達成が地方創生に資するものであるという認識のもと、策定にあたりSDGsに配慮・明記し、基本目標の一つに据えて数値目標・KPIを設定</p> <p>※ 次期総合計画（令和4年4月～）は、第2期地方版総合戦略等において国から求められている要件や機能を兼ね備えて地方創生の理念を共有し、総合戦略と一体のものとして策定予定</p>
